

# 公益社団法人 日本リハビリテーション医学会

## 令和3年度 事業計画

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

### 〈 事業方針 〉

#### 1. 学術活動の推進

- ① 第58回日本リハビリテーション医学会学術集会を開催する。
- ② 第5回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会を開催する。
- ③ 地方会学術集会の開催を支援する。
- ④ 学会誌を継続的に発行する。

#### 2. 新専門医制度改革への対応

- ① 2018年度から開始した新専門医制度におけるリハビリテーション科専門研修プログラムの調整及び、研修カリキュラム制による専攻医育成の制度設計を継続し、専攻医希望者のプログラム応募数の増加と、適切な採用が行われるよう体制を構築し推進する。
- ② 新専門医制度に対応した形で、現専門医の機構認定専門医への速やかな更新を適切に進める。

#### 3. リハビリテーション医学教育の充実

- ① 卒前教育の最新状況を把握し、リハビリテーション医学の卒前教育体制を整備する。
- ② 全国医学部リハビリテーション科連絡協議会を通じて、卒前教育に必要なリハビリテーション医学講座設置推進の取り組みを推進する。
- ③ 医学生、研修医へのセミナー実施と広報の充実を図る。
- ④ 新専門医制度を踏まえて、関連学会として設立された日本急性期リハビリテーション医学会、日本回復期リハビリテーション医学会および日本生活期リハビリテーション医学会に財政面を含めて支援を行い、協力して研修会開催やテキスト作成を実施することにより、急性期から回復期、生活期までの一貫したリハビリテーション医学教育を実施する体制を整備する。
- ⑤ 日本リハビリテーション医学教育推進機構と協働して、リハビリテーション科医とリハビリテーション専門職のためのテキストの発行、研修会の開催などを行い、質の高いリハビリテーション医学・医療の普及に努める。
- ⑥ 認定臨床医、専門医、指導医の卒後教育、生涯教育のための教育を充実させる。
- ⑦ e-learningで配信する教育コンテンツの企画、作成を行う。e-learningの配信内容の充実を推進する。

#### 4. 調査研究・学術事業の推進

- ① リハビリテーション医学研究（治療法、再生医療等の先端医療開発）を推進する。
- ② 診療ガイドラインを計画的・系統的・持続的に策定、改訂する。

- ③ 新型コロナウイルス感染症について、プロジェクト研究を行う。

## 5. 社会保障制度改革への対応と提言

- ① リハビリテーション医学・医療関連団体との連携を強化し、地域包括ケアシステム、地域医療構想における中心的な役割を果たす。
- ② 地域のリハビリテーション医療のあり方とリハビリテーション科医の役割についての検討を行う。
- ③ 制度体系について中期的展望に立った提言を行う。
- ④ 診療報酬改定及び介護報酬改定に向けた対応について検討・実施する。
- ⑤ 時代に即応した医療福祉システムを展望し、特に「医療機能の分化と連携」「地域包括ケアシステムの推進」に関する政策提言を行う。

## 6. 社会への貢献

- ① リハビリテーション医学・医療の充実・普及を図る。
- ② 障がい者スポーツの振興やパラリンピックへの貢献を推進する。
- ③ 市民啓発事業を実施する。
- ④ 日本災害リハビリテーション支援協会（JRAT）と協同し、大規模災害時における被災者支援を積極的に遂行する。

## 7. 国際化の推進

- ① 各国研究者間の交流を促進する。
- ② アジア地域との連携と交流を促進する。
- ③ 国際学会への対応を強化する。

## 8. 学会財政基盤の整備強化

安定収入の確保や事業支出の見直しなどを行い、引き続き学会財政基盤の整備強化に向けた取り組みを行う。

## 9. 学会組織の見直しと充実

- ① 理事長直轄組織を活用し、機動的に事業を行う。
- ② 委員会機能の整備と強化を図る。
- ③ 危機管理体制を整備する。
- ④ 事務局機能を強化する。
- ⑤ 地方会との連携を強化し、地方会の活動を支援する。

## 10. その他

本医学会の目的に沿った事業を行う。

## 〈 事業計画 〉

### 1. 学術集会の開催

- 1) 第58回日本リハビリテーション医学会学術集会を、2021年6月10日（木）から6月13日（日）の4日間、国立京都国際会館に於いて開催する。
- 2) 第5回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会を、2021年11月12日（金）から14日（日）の3日間、名古屋国際会議場に於いて開催する。

### 2. 諸会議

- 1) 代議員総会 1回

- 2) 理事会 7回

- 3) 理事長直轄委員会

#### ① パラリンピック・障がい者スポーツ委員会

1. 医学的サポート活動を行う。

- ・東京パラリンピックでの医学的サポート活動
- ・障がい者スポーツ選手に対する医学的サポート活動
- ・メディカルチェックに関するサポート活動
- ・ドーピング管理に関するサポート活動

2. 医学的研究活動を行う。

- ・障がい者スポーツの安全性に関する研究活動
- ・障がい者スポーツの技術力向上に関する研究活動
- ・障がい者スポーツの健康効果に関する研究活動

3. 広報と普及活動

- ・障がい者に対する障がい者スポーツの普及活動
- ・一般国民に対する障がい者スポーツとパラリンピックの周知活動
- ・医療関係者に対する障がい者スポーツの周知活動
- ・関係機関や企業との連携促進活動

#### ② 専門医委員会

- ・リハビリテーション医学・医療の発展に寄与できるリハビリテーション科専門医活動を行う。
- ・本医学会内の委員会として学会の運営に積極的に貢献する。
- ・SIGの運営管理及び活動を通して、リハビリテーション医学・医療に必要な知識技術の普及・広報を行う。
- ・専門医間の交流促進を図る。
- ・地方会との連携を図る。

#### ③ 関連専門職委員会

- ・専門職会員の教育体制の構築を行う。

④ 学術集会検討委員会

- ・春の年次学術集会を大規模学会として定着させるための討議および年2回の学術集会の検討を行う。

⑤ 教材作成委員会

- ・リハビリテーション医学・医療に関する教材の企画を日本リハビリテーション医学教育推進機構と協同しながら行う。
- ・e-learning用教材の制作を企画・推進する。

⑥ 将来構想委員会

- ・日本リハビリテーション医学会の将来像について、教育、人材育成、組織、財政等の検討を行う。

#### 4) 各種委員会

(1) 危機管理・利益相反委員会

- ・災害時等におけるリハビリテーション医学会の危機管理に関する検討を行う。
- ・本医学会の利益相反の管理及び指針等の整備を行う。

(2) 財務委員会

- ・本医学会の財務体制について検討するとともに、事業計画及び収支予算案並びに収支決算の検討を行う。

(3) 国際委員会

- ① 本医学会員海外研修補助プログラムの実施。
- ② 外国人リハビリテーション科医師対象の短期交流補助プログラムの実施。
- ③ Honorary/Corresponding Member を拡充する。
- ④ 英文ホームページの整備を行う。
- ⑤ 英文 annual report の作成を行う。
- ⑥ 世界、特にアジア諸国の実態把握と協力関係促進を行う。
- ⑦ ISPRM2022 への貢献。
- ⑧ 海外への日本リハビリテーション医療における新型コロナウイルス対策の紹介。
- ⑨ 各種リハビリテーション関連国際会議の情勢調査

(4) 教育委員会

① リハビリテーション科医養成

- ・卒前リハビリテーション医学教育カリキュラムの標準化に関する検討を行う。
- ・初期臨床研修医研修カリキュラムの検討を行う。
- ・専攻医教育体制の整備・支援活動を行う。

- ・リハビリテーション科転向希望医師への支援活動を行う。

## ②生涯教育

- ・生涯教育に関する研修会・講習会の開催支援及び審査を行う。
  - 生涯教育研修会（領域講習）
  - 指導医講習会
  - 専門医共通講習会（必須講習会：医療倫理、医療安全、感染対策）
- ・専門医受験者への支援を行う。
- ・関連学会の審査を行う。

## （5）広報委員会

- ・学会誌 JARM NEWS における TOPICS、REPORT、基幹研修施設インタビューなどを担当する。
- ・ホームページの管理及び改善を行う。
- ・専門医リスト・認定臨床医リストの改善を行う。
- ・記者懇談会を実施する。
- ・日本リハビリテーション医学会ニュース NEXT!3 号を作成する。
- ・医学生・研修医向けパンフレットを作成する。

## （6）会則検討委員会

- ① 規則、内規、申し合わせ等の諸会則の整理と会則間の整合性を図る。
- ② 医師以外の正会員および専門職会員候補者の入会事前審査を適正に行う。
- ③ その他諸会則に関わる必要事項の検討を行う。

## （7）倫理委員会

- ① 本医学会が行う事業と運営方法、制定する規則の倫理的問題の審議を行う。
- ② マスコミ等社会から要請のあった倫理的問題の審議を行う。
- ③ 会員の除名に関して倫理的問題が生じたときの審議を行う。
- ④ 会員の研究、診療に関して倫理的疑義が提起された時の審議を行う。
- ⑤ 本医学会で行う委員会活動で生じる倫理的側面の支援を行う
- ⑥ 学会誌投稿規程の倫理的側面に関する支援を行う。
- ⑦ その他、理事長から諮問のあった事項の審議を行う。

## （8）選挙制度委員会

- ・本医学会における代議員選挙、役員選挙制度について評価検討を行い、必要に応じて改善案を提案する。

## （9）選挙管理委員会

- ・本医学会における代議員選挙、役員選挙に関する事務を行う。

## （10）専門医制度委員会

- ・新専門医制度の定着に向け、課題について検討を行う。

(11) 試験委員会

- ① 専門医試験・認定臨床医試験を実施する。
- ② 専門医試験、認定臨床医試験の筆記試験問題を作成する。
- ③ 専門医試験の口頭試験における標準問題を作成する。
- ④ webによる口頭試験実施に関する検討を行う。
- ⑤ 実施した筆記試験問題の適正化に関する検討を行う。
- ⑤ 実施した試験問題および予備問題を保存・管理する。
- ⑥ 新作問題作成及び会員への問題作成依頼を行う。
- ⑦ 令和4年度の問題作成を開始する。

(12) 認定委員会

＜ 資格認定小委員会 ＞

- ① 専門医の認定及び更新に関する審査を行う。
- ② 認定臨床医の認定及び更新に関する審査を行う。
- ③ 指導医の認定及び更新に関する審査を行う。
- ④ 新専門医制度に関する資格要件や規則の改正などを行う。

＜ 施設認定小委員会 ＞

- ① 研修施設の認定及び更新に関する審査を行う。
- ② 新専門医制度による研修プログラムの認定・更新制度の検討、規則改正等の検討を行う。

(13) 先端医療・機器委員会

- ① 脊髄再生治療に関する情報収集とリハビリテーション医療の役割について検討を行う。
- ② ロボット、AI、IoT、AR&MRのリハビリテーション医療への応用促進を行う。
- ③ 軟骨再生医療に関する情報収集とリハビリテーション医療の役割について検討を行う。
- ④ 各団体からのリハビリテーション医療関連機器に関する依頼や問い合わせへの対応を行う。
- ⑤ リハビリテーション関連機器に関する情報発信を行う。

(14) 障がい者福祉委員会

- ① 障がい者の社会活動支援に関する事業を行う。
- ② 障がい者施策の動向と関連制度等の検討を行う。
- ③ 補装具・福祉用具に関する事業を行う。
- ④ 広報活動を行う。

(15) 社会保険委員会

- ① 2022年度診療報酬改定に向けての提案書作製及び提案を行う。  
(内保連・外保連・全国リハ医療関連団体協議会)

- ② 2021 年度介護報酬改定におけるリハビリテーション関連項目の検証を行う。
- ③ リハビリテーション診療報酬審査委員へのヒアリング及び意見交換を行う。

(16) 男女共同参画委員会

- ① 学術集会におけるシンポジウム企画開催
- ② 日本医師会共催セミナーの開催
- ③ エキスパートを対象としたインタビュー企画とホームページへの掲載
- ④ 「達人の流儀」冊子の刊行
- ⑤ 学会ホームページにおける男女共同参画に関する発信
- ⑥ 男女共同参画推進のための交流会の開催
- ⑦ 他学会・団体における男女共同参画部門との連携に関する取り組みを行う。
- ⑧ 男女共同参画に関する調査を行う。
- ⑨ 男女共同参画委員会と RJN の連携構築を行う。
- ⑩ 男女共同参画貢献者表彰に関する事業を設立する。

(17) 国内誌編集委員会

- ① リハビリテーション医学の発展のために、広く、教育・啓蒙・研究活動を推進すべく、学術的情報を発信するための質の高い学会誌を発行する。
- ② 本医学会の広報活動に寄与すべく、各種情報を学会誌に掲載するとともに、学会誌の普遍化を一層推進する。
- ③ 本邦基本領域医学会の公式ジャーナルとしての役割を果たすよう、紙面の量・質とも重厚となるように整備を進める。

(18) 国際誌編集委員会

- ① 国際誌としての対外的評価を向上させる。
- ② 国際的医学文献データベースへの収載を行う。
- ③ 国際誌の編纂を行う。
- ④ 国際誌論文賞対象論文の選定を行う。
- ⑤ 広報および投稿の呼びかけを行う。

(19) 診療ガイドライン委員会

- ① 既刊ガイドラインの改定作業の支援を行う。
- ② 新規ガイドラインの作成作業の支援を行う。
- ③ 新規ガイドライン作成の検討を行う。
- ④ 他学会、他職種のガイドラインに関する情報収集を行う。

(20) 研修会等委員会

- ① 実践リハビリテーション医学研修会を日本リハビリテーション医学教育推進機構と共同で開催する。
- ② e-learning システムの拡充・改善を日本リハビリテーション医学教育推進機構と連携して進める。

- ③ 急性期病棟におけるリハビリテーション医師研修会を日本リハビリテーション医学教育推進機構及び日本急性期リハビリテーション医学会と共同開催する。
- ④ 回復期リハビリテーション病棟専従医師研修会を日本リハビリテーション医学教育推進機構と共同で開催する。
- ⑤ 生活期リハビリテーションにかかわる医師のための研修会を日本リハビリテーション医学教育推進機構及び日本生活期リハビリテーション医学会を開催する。
- ⑥ 実習研修会の開催を日本リハビリテーション医学教育推進機構と共同で支援する。

#### (21) 評価・用語委員会

- ① リハビリテーション医学用語に関する事業を推進する。
- ② 評価法動向調査（評価データベース）に関する事業を行う。
- ③ 学会誌、学会ホームページ、パンフレット作製などによる広報活動を行う。

#### (22) ICFデータマネジメント委員会

- ① ICFを組み込んだ新規戦略的データベースの準備を進める。
- ② 小児データベースの運用、管理を行う。
- ③ 日本リハビリテーション・データベース協議会（JARD）のデータ保存と活用を行う。
- ④ 統計学講座の開催を検討する。

### 3. 新専門医制度に向けた取り組み

専門医制度委員会を中心に、新専門医制度に対応する「専門研修プログラム」の整備、地方への拡充、研修カリキュラム制による専攻医育成の制度設計を引き続き行い、専攻医募集活動を積極的に行う。「専門医機構専門医の更新」「学会認定専門医の機構専門医への移行の推進」「指導医の資格認定と更新」の作業を行う。また、専攻医の研修カリキュラム進捗状況が把握できる会員管理システムの運用を行う。

### 4. 財政基盤の整備

安定した財政基盤の確立のため、引き続き財務委員会において財政状況の分析及び検討を行う。

### 5. 会誌の発行

会誌「The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine」を年12号（第58巻第4号～第12号、第59巻第1号～第3号）、1号あたり約12,000部発行する。これらはオンラインジャーナルとしても刊行する。

さらに、英文 journal「Progress in Rehabilitation Medicine」への論文収載を充実し、Pub Med への掲載を推進する。

### 6. 広報誌の発行を含む広報活動

「リハニュース」から題名を改めた冊子「日本リハビリテーション医学会ニュースNE

X T !」を発行して、会員及び医療関連従事者への広報を充実する。

## 7. ホームページの管理運営

- 1) 掲載内容の更新、追加などを実施する。(適宜内容の見直しやトップページを含めた内容の整理を行う。)
- 2) 英文ホームページの内容を充実する。
- 3) 会員用 Web システムの有効活用及び I T 化を推進する。
- 4) 会員により実用的な情報管理、提供の場となる H P の編集を推進する。

## 8. 教育及び研修

### 1) 実習研修会

次の 8 種 9 研修会の開催支援を行う。

- ・義手・義足適合判定医師研修会アドヴァンスト・コース
- ・小児のリハビリテーション医療実習研修会
- ・臨床筋電図・電気診断学入門講習会
- ・嚥下障害実習研修会 (1 回目、2 回目)
- ・職業リハビリテーション研修会
- ・脊損尿路管理研修会
- ・リハビリテーション医療に活かすコーチング研修会
- ・実習研修「動作解析・運動学実習」

### 2) 学術集会研修会

第 58 回日本リハビリテーション医学会学術集会を、2021 年 6 月 10 日 (木) から 13 日 (日) の 4 日間、国立京都国際会館に於いて開催する。

### 3) 秋季学術集会研修会

第 5 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会を、2021 年 11 月 12 日 (金) から 14 日 (日) の 3 日間、名古屋国際会議場に於いて開催する。

### 4) 実践リハビリテーション医学研修会

「切断・リウマチ性疾患・骨粗鬆症」「集中治療室におけるリハビリテーション診療・栄養管理・熱傷/褥瘡」「リハビリテーション医学に必要な基礎科学」の 3 研修会を開催する。

### 5) 急性期病棟におけるリハビリテーション医師研修会を開催する。

### 6) 回復期リハビリテーション病棟専従医師研修会を開催する。

### 7) 生活期のリハビリテーション医療にかかわる医師のための研修会を日本生活期リハビリテーション医学会、日本リハビリテーション医学教育推進機構と協力して開催する。

8) 「総合力のつくリハビリテーション医療・医学研修会」を日本リハビリテーション医学教育推進機構と協力して開催する。

9) 医学生・研修医リハビリテーション医学セミナー

医学生、研修医、転科を考えている他科の医師に向けた「リハビリテーション科医になろうセミナー」を複数回開催する。

10) 各種講習会

専門医受験支援講習会、指導医講習会、医療倫理・医療安全・感染対策講習会を開催する。

11) リハビリテーション処方に必要な研修会

診療報酬の改定に合わせ、リハビリテーション処方に必要な各種研修会を開催する。

## 9. 専門医の認定及び資格更新

1) 専門医（リハビリテーション科専門医）の認定審査を行う。

2) 専門医の資格更新一次審査を行い、日本専門医機構に申請する。

## 10. 認定臨床医の認定及び資格更新

1) 認定臨床医の審査認定を行う。

2) 認定臨床医の資格更新審査を行う。

## 11. 指導医の認定及び資格更新

1) 指導医の認定審査を行う。

2) 指導医の資格更新審査を行う。

## 12. 研修施設の認定及び資格更新

1) 専門研修プログラム認定の一次審査を行い、日本専門医機構に申請する。

2) 専門研修プログラムの変更届の一次審査を行い、日本専門医機構に申請する。

3) 研修施設の認定審査を行う。

4) 研修施設の資格更新を行う。

## 13. リハビリテーション医学啓発活動事業

市民公開講座等を開催し、広くリハビリテーション医学・医療の啓発活動を行う。

## 14. 学術研究の奨励

1) 優秀論文の表彰

2) 若手研究者への国際学会参加補助金の支給

3) 外国人リハビリテーション科医への短期交流研修補助金の支給

## 15. 国際リハビリテーション関連

- 1) ISPRM、AOSPRM等の活動に参加する。
- 2) アジア地域での交流活動を行う。

## 16. 利益相反マネジメントの推進

本医学会 COI 管理ガイドラインに従い、利益相反マネジメントの推進と会員への啓蒙促進を図る。

## 17. その他

リハビリテーション関連団体の主催する各種事業の後援、協賛等を行う。

令和3年度収支予算書(事業別区分の内訳書)

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

科目	公益目的事業	法人会計	合計
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
①受取会費	92,450,000	92,450,000	184,900,000
正会員受取会費	88,500,000	88,500,000	177,000,000
専門職会員受取会費	600,000	600,000	1,200,000
賛助会員受取会費	3,350,000	3,350,000	6,700,000
②事業収益	314,317,000		314,317,000
学術集会事業収益	265,017,000		265,017,000
第58回学術集会	181,200,000		181,200,000
第5回秋季学術集会	83,817,000		83,817,000
会誌等発行事業収益	5,360,000		5,360,000
会誌販売収益	360,000		360,000
会誌広告料	3,000,000		3,000,000
著作権料収入他	2,000,000		2,000,000
専門医等認定事業収益	24,540,000		24,540,000
審査料	7,440,000		7,440,000
登録料	3,000,000		3,000,000
更新料	11,600,000		11,600,000
e-learning単位認定料	2,500,000		2,500,000
研修会事業収益	19,400,000		19,400,000
生涯教育研修会認定料	1,600,000		1,600,000
病態別実践リハ研修会	3,000,000		3,000,000
臨床研修医医師向けリハ研修会	1,300,000		1,300,000
急性期等リハ医師研修会	13,500,000		13,500,000
③基本財産運用益	12,500		12,500
基本財産受取利息	9,000		9,000
学術研究助成基金受取利息	3,500		3,500
④民間助成金収益	4,200,000		4,200,000
⑤寄附金収益	2,500,000		2,500,000
⑥雑収益	5,501,000		5,501,000
受取利息	1,000		1,000
雑収益	5,500,000		5,500,000
経常収益計	418,980,500	92,450,000	511,430,500
(2)経常費用			
事業費			
第58回学術集会事業費	175,897,385		175,897,385
第5回秋季学術集会事業費	83,501,883		83,501,883
会誌発行費	59,240,400		59,240,400
英文ジャーナル発行費	16,954,640		16,954,640
リハニュース発行費	4,500,000		4,500,000
各種委員会旅費・会場費	4,098,935		4,098,935
各種委員会経費	4,930,000		4,930,000
専門医等認定事業費	11,270,000		11,270,000
研修会事業費	7,720,000		7,720,000
臨床研修医等医師向け研修会	2,880,000		2,880,000
病態別実践リハ研修会	1,540,000		1,540,000
急性期等リハ医師研修会	3,300,000		3,300,000
e-learningコンテンツ制作費	7,000,000		7,000,000
海外研修補助金	3,200,000		3,200,000
優秀論文表彰金	600,000		600,000
啓発活動事業費(市民公開講座)	1,500,000		1,500,000
地方会事務局運営補助金	7,960,000		7,960,000
診療ガイドライン策定費	610,000		610,000

科目	公益目的事業	法人会計	合計
用語集作成費	8,000,000		8,000,000
新型コロナウイルス感染症プロジェクト研究補助金	200,000		200,000
給料手当	19,140,000		19,140,000
退職給付費用	589,860		589,860
福利厚生費	3,480,000		3,480,000
旅費交通費	1,305,000		1,305,000
HP維持管理費	696,000		696,000
通信運搬費	2,610,000		2,610,000
情報関連整備費	1,044,000		1,044,000
什器備品費	43,500		43,500
消耗品費	217,500		217,500
印刷製本費	1,305,000		1,305,000
光熱水料費	522,000		522,000
賃借料	15,012,720		15,012,720
租税公課	3,306,000		3,306,000
負担金	5,220,000		5,220,000
事務委託費	38,280,000		38,280,000
支払手数料	1,566,000		1,566,000
減価償却費	6,264,000		6,264,000
雑費	870,000		870,000
給料手当		2,860,000	2,860,000
退職給付費用		88,140	88,140
福利厚生費		520,000	520,000
代議員総会費		500,000	500,000
選挙関係費用		4,000,000	4,000,000
理事会費		2,000,000	2,000,000
旅費交通費		195,000	195,000
顧問料		2,000,000	2,000,000
HP維持管理費		104,000	104,000
通信運搬費		390,000	390,000
情報関連整備費		156,000	156,000
什器備品費		6,500	6,500
消耗品費		32,500	32,500
印刷製本費		195,000	195,000
光熱水料費		78,000	78,000
賃借料		2,243,280	2,243,280
租税公課		494,000	494,000
負担金		780,000	780,000
事務委託費		5,720,000	5,720,000
支払手数料		234,000	234,000
減価償却費		936,000	936,000
雑費		130,000	130,000
経常費用計	498,654,823	23,662,420	522,317,243
当期経常増減額	△ 79,674,323	68,787,580	△ 10,886,743
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			0
(2) 経常外費用			
経常外費用計			0
当期経常外増減額			0
当期一般正味財産増減額			△ 10,886,743
一般正味財産期首残高			393,782,867
一般正味財産期末残高			382,896,124
Ⅱ. 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額			0
指定正味財産期首残高			0
指定正味財産期末残高			0
Ⅲ. 正味財産期末残高			382,896,124